

慰問の手紙を托す

＝ 依 頼 ＝
 された生徒
 の慰問文二

石炭が一日七百トン

石炭が一日七百トン

目を廻す程忙しい貯炭場

来から正月にかけて各々の家庭で買ひ溜めをやつてゐるのが、さうから一日のうちに三、四出たといふ標準にはならぬことであつた。尙これが先、定額の十割、吉林省五割、

突如燃ひ上つた零下二十八度余の酷寒、斯うなる三度の節は一度くらい我慢して、メヤとされるが、炭を探したに焚く石炭は一刻も無く

進みつゝある

尙滿洲國內の租稅收入は各埠各々匪賊水害の爲、減收又減收で、奉天省に於ては收入幾

十一日東京發

「東京十日後發國」報知新聞云、北滿京觀察官年圖一道、府十四縣代任、行仕名、十二日荒木陸相永來、拓和以下各文部、海軍省の廳を以て路を歴訪する、海軍省を參拜、十一日午前八時明治廟を參拜、午後四時十五分東京露臺滿洲館に歸す。

徒歩三百五十里に達し、(一) 同日已に大觀廟(二) 貢士廟(三) 觀音廟(四) 百廿八、二百五十六名である。

國內に於ける開闢、政治は實に、集團的のものに於き、土地の集團的ものは殆ど土地の集團的、滿洲國の理想として、王道政治が普及され、滿洲が世界の樂土となるもの。

天野○團長語る

天野○團長語る
〔大連十一日電國連〕滿洲事
件勃發以來、寧日なき兵匪討
伐に赫々の行動を残した多門
○團の殿り部隊として第○○
洲と今日の情勢を比較し觀
るに感慨無量だ

警備司令部の
特産運搬保護

歡ひ

に左の如く語つた
事件勃發と同時に出勤、車
は寧古塔、敦化西はチチハ
ル、南は瀋陽まで列車行程
千八百里、自動車五百哩、
匪賊は數回の討伐によつて四
散したが田舎には未だ五人七
人のこそ匪賊が潛伏して鄉村
から新京に向ふ特產運搬を妨
害して居るので警備司令部で

百五將士死亡と認む

吳で海軍葬を行ふ

(東京十二日發國信) 關島艦
隊早は遭は以來四十日を經過
し現如にはもう條條の吳竹を
苗若竹、始め、軍艦五十餘、
特務艦四日、日々に夜微浪と
つづつ水を探索を廻つてゐる
が船体が無残な外、一個も揚
ぐの面を露出は近く搜索を
行へ切つて五名の將士を死に
た。船主は吳軍港で盛大な海軍
葬を行ふ事となつた

(東京十二日發國信) 遭難艦
隊早は遭はは捜索の結果海
軍艦ではその罹難船を認め盛
組員白五名を死にた。餘り盛
組員は和軍葬にふかになつた
事は此報等が同様に早瀬遭
難の原因に就ては、後速す將
を委員長とする海軍委員の下
に於て審判形式でつたが、近く
終結の形をなすつて後海軍
員が之を免する事である

全滿の經濟狀態

（國補）滿洲國內各縣の治安
 ほぼ平穩となつたので民政部
 に於ては豫ての懸念より来る
 十五日頃より縣政監督會を
 開催し縣制及び縣政監督會
 制定するこゝな事なり。右に
 注意滿洲國內各縣より来る

空襲に近き参事が入る
 事となつてゐる

吉林省
 縣參事配置縣八縣餘其他
 縣八、富錦、樺川には東部
 總隊伐事に同行してゐる宜
 しいは左の如くである

膨張した事業費は本社
 して相當の權限を拂ひ大滿洲
 國の幹部部局層階の充實を
 圖るものである

右の内宅なるものは公費三十
 六萬圓住宅一、五萬圓その他
 水道等、親規事業の主なる
 ものは左の如くである

黑龍江省は水災の

貴に多幸なりと賀する。又、
 殘餘の七縣、安順、撫松、
 長白、蒙古、双山、榆樹、
 使日感想
 (4)
 國務院法制局 賀 嗣 章
 大に於て死んで一國を振興し
 てゐるが、一四縣に掛り
 著任し目下若々建社事業に
 法上の勝敗はないのであります。
 ず、私の友の家にやつた時
 に御奥様は御坊ちゃん、御
 嬢様、又御女中が並つて入口
 へ出て来られた。

國務院法制局 賀 嗣 章

併し之れが果に國體は欠損なり
教育でもありて、日本教育界
及は誰でも知て居ることに
ありまして、その根本方針は長
く明治天皇の教育勅諭でさ
さいます。其の勅諭には孔孟
の道に迎へて終行せられた
知行各々日本人は之を行ひ
て今日入國されてあります。
今日本國を離れての歡迎
は其の影に至つて諒でありま
す。又我々が立派な紳士な
つて日本兄弟の國體を尊ぶ様
にその獎勵は今日の日本國
民全體が極めて自覺し、誠心
を盡してゐることを希望し
て居るものであります。日本
國民の熱誠熱誠は既往に之れ
を見れば出なしたつたのであ
りまして、私共としては實に
感謝に堪へない次第であります。
日本は誰れも誰れも努力し
る國體の二字を抱いて實行
し入國に接し、物に對し、我
々を歡迎して歡迎に對人も
ばまた御心に御世話を下さ
りまして、又日本人の家庭に
こそ證明し得られるもので
あります。又日本人の家庭に
至りては父は父なり、子は子
なり、兄は兄なり、弟は弟な
り、夫婦は夫婦は夫婦は夫婦
なり、五倫の中は主婦のご親類
たり、兄弟の中間は姉妹のご

詳細は追て發表

黒龍江省の如きは三割に過ぎず、民政部では今年中に滿洲國內全縣に參事を配置すべく計畫中と之等縣參事の活動に復すべく期待してゐる。

名出附參事を稱め、尙ほ于警備司令は二日午而新八渡奉天に歸任する所定

である

國幣三千圓
大木俵次
加納一
國幣二千五百圓
平野玄三
國幣一千圓

東部軍線の
募兵還らん

天警備司令は十一日午後
ヤマト、ホテルに軍首脳

明年度豫算
 十五萬余圓
 佐伯小國參謀長 面村彰
 課長、議定十河理事以下廿七
 さいならす
 〔四半街交簡登〕
 郡生れ平國ノカキ
 前雲市カエラエ
 ゴで浮名を流した
 洩雨店無カエラエ
 ぐ内京がれ洩雨

昨年比、約二倍に達す

の町から
は九日浦
の所蔵豫
なるこの
は本社と
び大洲
の光を

「千鶴の一節」(商業社刊)
「下宮官舎附近道路新設」
「頭道溝一便所掘工事」
「公園校の便所造築」
「細田検査所新築」
「公園の改造」
「公園の温室新設」
「東一條通の碑聖新設」

水道の部

「第四水源池擴張工事」
「陸上官舎附近一帯の水道縦
管敷設工事」
「社宅(乙丙)二十戸新設」
「理事公館新築」

新東京牛内店超えて
り銀高に伴ふ原價
り各肉店二割の値
落へ諸君との健并
この寒氣にもめけ
問詳細の調査を行
特に鶏内豚肉に與

遺族に弔慰金

遺族に弔慰金
最高三千圓に達す

大楠樹睦
近に匪賊

満洲里國境警備隊員として過長之が勇士の遺族に左の通南滿沿邊に榆樹驛

見るべく又之に
りも香奠金一封

ありま
つた時
ん、御
迎を伺
たて電
千長

数千の學生が我が滿洲國の產
千圓が來たさ隨いて譯まで出
迎ひした後に、さうしても歡
迎を伺きたりして電話なら
て電話なら

の日本國民全体の聲であるこ
私は感謝するのであります。
陸軍大臣荒木閣下は我々二十
人に握手を賜はり、新聞紙

した
簡易宿泊
から引致

なさいまして鬼角所は人和を得て其

例へば
全校
にせす
ないの
さと思
ます。
約にあ
人は悉
修身。
程で
待て下
身に
を脱へ
る。我々
は此程
の動意
以外
日本、
我が
子弟
生を
顧むる
ことな
らざり
し事は
思ひ手
に通ず
るので
ありす
。同校
の校長
が先生
が歡迎
に遠方
より來
た一番
先きに
是れを
述べら
れた事
も興さ
さんや
と問會
詞した
のであ
ります
。我々
兄弟姉
妹の遠
洲國童
子園が
來て誠
に歡喜
の極め
であります
。云ふ
句間而
說され
た處は
、殆ん
ど全學
生に對
して一
同此を
拜聴し
てゐる
のであ
ります
。此の
聲を今
日

を全ふる機にこの御教であ
ります。東京市長は我々に貴
賓として御来遊を願ひました
其の外主なる各都大臣各地方
の官紳の御訪問、横濱實業港に
参りました時に所有ゆる要塞
は皆我々に見せ、而かも長門
要塞まで御來つて下さいまして
緊要の處は皆參觀見せられて
頂き、別れる時には司令官閣
下から摩山閣様宛なる御言葉

天から來京御宿病癒を祈
られたので、奉天天皇が
シランゴを窃取せられ
ルビンの旅館を購
て惡事を働かおりに

〔國世〕軍隊輸送の重大任務を帯び中東鐵路の第一線にて

非戦隊員として身に寸鐵をも
 帶びず職務を遂行し勇敢にも敵
 に殉じた戦士。保安区員故廣
 瀬吉盛氏各別式はハルビン
 で盛大に行はれた。遺骨は同
 地に赴いた遺族及び三好孝天
 保安區長外數名附添ひよ本二
 日ハルビン號第三列車にて南
 した。我々は泊聖地一門
 統帥樂多敷を擁護した

北平博物館
 寶物運出
 自治會が眞
 から反對

を逮捕

カフエー女給

定婚(二十六)と知合なり同様
する約束で前借七ヶ金圓を支
拂はせ逃亡中を男が洗滌欄手
籠警察に取押へ方を願ひで
捜査中九日午後五時四分街辭
に降り立つた處を逮捕した

森洋行

苦勞をし、北平の博物館に

押の下に寶物を十の箱に詰めたか扱へ何處に運ぶか誰か存すべきかとの軍閥に委ねる泥棒にあづける様なもので持出すわけには行かず戸惑してゐるが、北平人民自治では寶物をさの軍閥にあづけて一度さ北平に還つて來て北平からの持出しに

癰に

主義採用

受け晴京した

十三日(金) 奉天
天後五、〇〇レコー
銭、金銀相場商業通信
五、二〇レ

京後六、二〇時事解説

洲語彙編輯及漢洲語
三〇ニユース（
京後七、四五ニユース（
西亞語）
京後八、〇〇ニユース（
鮮語）
京後八、一五ニユース氣
豫報、放送局編輯及プロ
ラム廣告
京後八、三一〇時報
東
改定及編輯

新京公告第十九號
 新警察廳告示ニ依リ、防護防ノ爲メ、一月十六日ヨリ、
 新日本臨時種痘ノ施行ス、管内居住者ハ當日午後一時ヨリ、
 四時迄指定場所ニ於テ種痘(定期種痘)當者ハ種痘及種
 痘受ヘシ
 但シ、協同ノ經過シタル者ハ此ノ限ニ在ラス
 昭和八年一月十二日
 新日本地方事務所長 荒木章

一、種痘ヲ受ケル者
 但シ、種痘ノ受ケタル者
 2、既に九カ年以ノ前種痘シタルコトナキ者及種痘
 ノムカハ不感症ナキ者
 二、種痘ノ期
 種痘月日 施行區域 施行時間及場所
 一月十六日 新京市内 至午後四時 太子堂
 一月十七日 同 同 同 同 太子堂
 一月十八日 同 同 同 同 太子堂
 三、種痘ノ期
 檢疫月日 施行區域 施行時間及場所
 一月廿三日 新京市内 至午後三時 太子堂

新警察廳公告第十九號
 佈告者茲因防護防痘見定於一月十六日起施行種痘種痘
 管内居住者ハ一日須於該日午後一點起至四時之間在所定場所
 受種(該當定期種痘者ハ種痘受種後以種痘及種痘)
 但シ、協同ノ經過シタル者ハ此ノ限ニ在ラス
 昭和八年一月十二日
 新京地務事務所長 荒木章

奈良縣人ニ告ケ
 當縣人會ニ薄皮ノ部ガアリヌカラ新規則來住者中ハ人會
 命渡レノガハ是月十七日迄二口頭又ハ電話ニテ審テ左記
 ノ處ニ申込下ラセ候
 申上マシ
 申上マシ
 應ニ受種時種痘人
 種痘後已過半年者以及種痘後不感症(不出)者
 二、種痘ノ期
 種痘月日 施行區域 施行時間及場所
 一月十六日 新京市内 至午後四時 太子堂
 一月十七日 同 同 同 同 太子堂
 一月十八日 同 同 同 同 太子堂
 三、種痘ノ期
 檢疫月日 施行區域 施行時間及場所
 一月廿三日 新京市内 至午後三時 太子堂

在新京奈良縣人會
 申込所 梅屋敷 飯出伊之助 住吉町一丁目 小松製材所 小松製材所 電話二六四
 大和商會 野村 松隆 日本備通二 日本備通二 本城賣店 本城賣店 電話二五八
 電話二五八

防寒帽子 △防寒 手袋
 毛皮ショール △防寒 靴下
 毛皮オーバ △カロシ 防寒靴
 毛布各種 △純毛 シャツ
 日本備通二
 電話二五八

初春の御婦人方へ
 お召物新 衛入荷
 女服二名入用
 電話二〇九番

和洋食
 ベビースタイル
 急行サービス
 ハンサム 一人前三十錢
 同 同 一人前二十錢
 電話三八四六番
 昭和二年三月三十一日

新
京
日
新
聞

少年航空兵を
新に採用決定

〔東京十二日國通〕陸軍では兵備改善の第一歩として少年航空兵採用の具体案を決定し十二日發表の筈である簡志

願資格は十七歳以上十九歳までも所擇飛行學校で教育することになつてゐる

これが改正の必要を現
程死刑附屬をして原案
せしめ十一日省議を開
の結果全文を改正し今

農林負債整理案

〔東京十二日電〕臨時議會で流産した農林負債整理案は休會明け議會再開を前にして再燃し再度の衝突を遂つて政友會の山口幹事長は昨日農相官邸に後藤農相を訪問して懸

談の結果兩方歩み寄り前議會の府政案と政友案とを折衷し國家保障を伴ふ負債整理法案を今議會に提案するを折台つた模様である

爲替管理法に對する
銀行側の意見

【東京十二日發國通】爲替管理法内容に對し銀行側は左の意見有してゐる

一、大体安常だが、爲替取引を日銀等に集中するを原則とす

二、息納限法には定限以上の利息を拂つて此れを取もさす規定がない爲高利貸は種々の游脱手段を弄して定限以上の利息を食つてゐるが同法省では

郵便貯金大減少

組合社にも徹底した取締を要す。

一、返済方法の及ばなかつた開業社や零細業者も實施す可きだ。

一、金の時價買上げを斷行し、爲替相場と資金設置の必要がある。

（東京十二日發聞） 低利資金救済の供給を使命とせる大藏省預金部はその支出に資金を那便預金から即ち昨年上半年期に主として地方銀行の信用低下の爲郵便局、向つて資金集中の觀を呈し預金

世界市場に於る

我が綿製品と人絹(三)

新うした不利な條件の下に 見やう、昨年十月中東阿訇
わが人間は如何にして市場に 在イギリス商務官の報告には

食債整理
合法案

提出するに決定した。改正要項上の如し

施行期日は勒令に委ね本年四月一日より實施の方針で數日中に開議請求手續を執

休會明け議會に提出か

(東京十一日發通電) 政友會の山口幹事長は十一日午後四

國に關し過般高橋藏相を
した際藏相は農林省所管

以下三す。定限以上の利息契約を爲したものは法律上總て無効三す（銀行法では裁判上無効三す）。定限以上の負債整理組合法案を休

鑛業法

に對しては五百圓以上の罰金、若くは三年以下の懲役刑を課する

（國語）實業部では礦業法施行を前に、舊正月明け二日

二月中に公布
されん

政府の用途計畫に齟齬。

巨額に達した。しかる例年一月には増加を見た貯蓄が本年は十日間に既に一千七億減じその減少を預金と運用計書の未収状態で預金部運用計書は強硬整理権に乗り上げ下半期の都府府の見込は二箇月が逆三億削減減少して二箇月が逆の差を來し運用計書の欠

る筈である

鐵道問題で 鐵相政友幹部 と懇談

〔東京十一日電〕鐵道省は十一月八日發出で當然改修の強硬派が六問題で

大蔵省預金部困る

[illegible]

に於いて獨占的地位を占めるに至つた

然し乍ら輸送を眺むれば、決して難弊材ばかりではなし、各國は本品を旨しては積々輸入を引こんでゐる。既にエタは昨年六月より禁止の輸入税を課し南阿はオクタ協定を以てイゼリ

この困難を如何にして征し、將來發展の道を拓いてくか、それはわが人耕に於かれた最も大きな、且つ最も重要な宿題と言ふべきであらう(元)

新年小説
春よ、いつまでも

楠田敏郎
北富三郎 畫

(三)

はるみは、銀座では一派さへ出るのみは、ある程のカラマ、オウチント女給として、百人ありの男のなかで今こそシヤンパレの女を背負つてゐる。けし、二年ほき前までは宮城野の田舎の小さな町人の娘にすぎなかつた。町の女學校に半通して、それからお嬢に仰ぐやうであつたに平凡に、幸々一幅にお夢の櫛ろくに頭たり、お夢に習つたらしく暮らす運命つけられてゐた。

だが、運命なんつてのがまだ、是れだけなものをいふに、はるみは、あそこが東京へ出て來た、そこに荊の道が待ちかまへてゐるけれども、それをかじりながら死ねてもよしはまだにあつた。

東京には、なるみの嫌な若くて美しく、女が満ち溢れてゐた。はるみは、氣の中へ華やかな都會の美風の中で窒息するやうになつた。

女學校時代に、不良少女につつまはじけをした友誼に就かれた、死が生がか云ふほど、入つたころに突つづんで、はるみは、はるみは直ぐそのまゝをここに持つていく。オキタスを見つけてくつかく近づく。まるは體をゆかけるやうにして、手に腰を下した。

はるみは、先きに、秀久式に三津澤の傍へ寄つて川を渡すつばしか、三津澤の傍へ行けなかつた。

この人にサビースするもの



それは苦待がたなく、されは
さう脆いものだつたか、いや、
それよりも人間の所有するも
のが、なんぞ、水に浮いて泡
タン堀で、カフエの女給にな
ることは、すこしもるゐを
感傷的にするものなかつた
三年はごの歳月、田倉娘
うつさした。

新刊紹介

[illegible]

虫下し

一デンニクマは日本

お子達に
は真蒼子
マクニシ

疾病の禍
根蟻虫
の毒藥に
はンが
マ
最良一



副作用なく
安全に換虫
マクニシ錠

二十番 五十番 四二番

三十五番 七十五番 一百二十五番

小冊子恐ろしい蟻虫の由縁大澤進訳

M-122

一町目道徳院 店商吉友澤藥 野倉次郎

春の衣裝

新柄陳列

吉野町二丁目

村岡吳服店

電話二二四番

羽根蒲團の
購買會を初めました
御加入を願ひます
御一報次第お伺ひ申ます
吉野町二丁目北滿旅館前
羽根蒲團
製作販賣
山本商店
取次電話二三三番

表彰品

贈旱品

耐用達

金華號

金銀香奩
燭罩
花瓶
茶器
置物櫃

高美
級宜
附商

本店 大馬路山莊對面 二樓中地

支店 廣西大坡 廣安 廣和 廣仁

美加士藥品

（清洲國向美加士印模荷覽）

美加士藥品

鋤
 焼
 寄
 水
 た
 せ
 き
 鍋

日本橋通り

㊦

みしまや呉服店

電話二五三五番

支店開設毛皮廉賣

カワウソ、狐其他高級毛皮種々
子供外套、洋服、毛皮
御婦人用襟巻、オーバ
防寒帽子、其他防寒品

日本橋明り（モブシヤン）内
カラベチヤンツ内

毛皮服
帽子
商
パ
レ
商
會

親切 丁寧
確 實

首都新京に唯一つの
地場銀行を御利用下さい

三笠町三丁目

株式 會社
長春實業銀行

電話 二〇三番
一九四四番

乾海濱鐵
產物物物
物物物物

東一條通
卸商 ㊤ 森川商店
電話三〇七五番

營業品目			
硝子鍍込工事請負	板硝子、厚鏡	洋釘、針金、丸鐵	板硝子、厚鏡
塗裝工事請負	衛生陶器、度量衡	鐵條網、黑鐵板	亞鉛引平浪板
防水工事請負	塗料、セメント	土木測量器具	鐵條網、黑鐵板
	鐵道用品、機械油		

建築材料商

昌光硝子株式會社
旭硝子株式會社
三星印亞鉛引平浪板
日本ペイント株式會社
小野田セメント株式會社
株式會社工英社
神山陶器製造所
多木農工株式會社
水上度量衡製造所

特約店

天野商店

長春東一條通一六
電話代表二九六七
支店 吉林城內

お正月三日の 花街景氣覗き

カフェーに壓倒され

料亭はまるで火が消れた様

インフレ暴風で迎えた新年三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

カフェーは

押すなぐの盛況

次はカフェーは押すなぐの盛況。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

簡易宿泊所

成績頗る良好

簡易宿泊所 成績頗る良好。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

外務省が松竹に

紹介映画製作を命ず

外務省が松竹に 紹介映画製作を命ず。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

坂本〇團長

視察旅行

内地へ中継放送

坂本〇團長 視察旅行 内地へ中継放送。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

李杜の敗残兵

分散して露頭に現る

李杜の敗残兵 分散して露頭に現る。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

まゝ、虐待めは

家庭にも缺陷

まゝ、虐待めは 家庭にも缺陷。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

長春座問題

いよく揉める

長春座問題 いよく揉める。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

八田副總裁も

中學設置の要を諒解

四戸塚本兩氏の懇請に

八田副總裁も 中學設置の要を諒解 四戸塚本兩氏の懇請に。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

商業の志願

百八十七名

商業の志願 百八十七名。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

「多分」

實現する

「多分」 實現する。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

「東京」

幸町小學校

「東京」 幸町小學校。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

圍碁大會

（廿二日頃）

本報圍碁部主催

圍碁大會 （廿二日頃） 本報圍碁部主催。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

麻雀大會

（廿九日頃）

麻雀大會 （廿九日頃）。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

詳細は追て發表

詳細は追て發表。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

測量器械と製圖用品

内田洋行出張所

本社 東京中央通三六

測量器械と製圖用品 内田洋行出張所 本社 東京中央通三六。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

社員募集廣告

明治生命保險株式會社

社員募集廣告 明治生命保險株式會社。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

服部商會

家具部

服部商會 家具部。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

茶

茶

茶 茶。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

感光紙と焼付

大同工業寫眞株式會社

本社 東京中央通三六

感光紙と焼付 大同工業寫眞株式會社 本社 東京中央通三六。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

年頭の御奉仕

金州自園産澤庵

年頭の御奉仕 金州自園産澤庵。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

園産の味本位の

「たかあん」

園産の味本位の 「たかあん」。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

「たかあん」

園産の味本位の

「たかあん」 園産の味本位の。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

御料理

館代千八

町野吉春長

御料理 館代千八 町野吉春長。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

カフエー

洋食

カフエー 洋食。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

部樂俱粧美京新

部樂俱粧美京新

部樂俱粧美京新 部樂俱粧美京新。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

都商會

都商會

都商會 都商會。客はほとんど見られず、静寂が漂っている。正月三日の花街景氣。料亭はまるで火が消れた様。カフェーに壓倒され、客はほとんど見られず、静寂が漂っている。

